

二中通信

校訓

自主 協力 責任

津久見市立第二中学校
学校通信 第 29 号
令和1年9月6日(金)
文責 校長 阿部 幸士

地域の方々から、二中学生に対する「お誉めの言葉」や「叱咤激励の言葉」をいただいています。その言葉の中には、「二中学生一人ひとりの《人としての成長》を大切にしてあげたい」という、地域の方々の温かさ・優しさ・真剣さをしみじみと感じます。

【校区内の区長さんから】

朝の登校の様子を見守ることが多いのですが、二中学生のあいさつはとてもよいです。きちんと相手を見てあいさつしています。

自転車の通行マナーについては、朝の登校時はまだよいのですが、夕方の下校時はよくないです。歩道いっぱい広がっていることは多いし、車道にまで広がって通行している場面があります。そういう時は、危ないことを分かってもらうため遠慮なく叱っています。

いつまでも、明るく元気がよく正直で優しい二中学生でいてほしいと思っています。

【夏休み中にボランティア活動を企画・推進した方から】

大変好評のうちに、無事に〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇を実施・終了させることができました。ボランティアに参加してくれた生徒たちは、本当に真剣に頑張ってくれました。「本当にいい子たちばかりだなあ」と感心しました。自分のことよりも相手のことを考えて、一生懸命にボランティアに取り組んでくれていました。

生徒たちのこういう姿がこれからの津久見を支えてくれるに違いないと思い、うれしくなりました。本当に有り難うございました。

【二中校区の地域の方から】

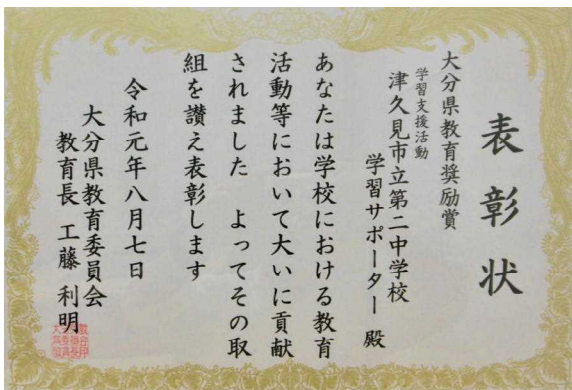
台風が来た関係で心配された盆踊り大会でしたが、無事に実施することができました。第二中学校の生徒さんが12名参加してくれました。とても有り難い気持ちでいっぱいです。そして、生徒さんたちは、とてもよく頑張ってくれました。

こうしたよい取り組みは、たとえ中学校が統合されても継続してほしいと思います。

第二中学校の生徒さんたちは、自転車のマナーも地域でのあいさつもとてもよいです。同じ地域に住む者として、とても気持ちがよいです。

今年度で4年目に入る二中校区の地域の皆様方による「学習サポーター活動」が、大分県教育委員会の「大分県教育奨励賞」を受賞しました！

学習サポーターの皆様方、本当におめでとうございませう！皆様方の支えに感謝しながら、二中学生はこれからも努力していきます。



* 学習サポーターの方々方が採点する確認テストには、生徒の名前記入はなく、○つけ採点作業で、サポーターの方々方が生徒の個人の状態を知ることがないように配慮しています。

《 9/6 (金) に市内英語大会弁論暗唱大会がありました。二中学生は頑張りました！ 》

